

全国交流ウォーク 箱根旧街道を歩こう 6kmコース紹介

甘酒茶屋から石畳の道

コース: 甘酒茶屋→箱根旧街道石畳道→権現坂→杉並木歩道橋→興福院→箱根神社第一鳥居→元箱根港→一里塚(江戸から24里)→箱根旧街道杉並木→東京箱根間往復大学駅伝競走往路ゴール標識→箱根町港→箱根関所跡→恩賜箱根公園

江戸時代、徳川幕府は人々や物資の往来が盛んになるように街道の整備を行いました。東海道はその中でも主要な街道で、箱根地域は道が大変険しく、当時の旅人が普通1日10里歩くところを8里しか歩けなかったようです。

箱根旧街道を歩こう6kmコースは、箱根旧街道の甘酒茶屋から芦ノ湖の恩賜箱根公園まで歩きます。

江戸初期から続く茶屋の甘酒は米麴と米だけで作られ、砂糖は一切使わずノンアルコール、とても美味しいです。



甘酒茶屋～石畳道～展望台 ～箱根旧街道最高地点

茶屋の裏から石畳道を上ります。県道を横切ると箱根旧街道の看板があり、斜度が少し急になります。15分程上り展望広場へ、二子山が近くに見えます。さらに上ると旧街道の最高地点で茶屋からの標高差は約100m。



最高地点～権現坂～興福院～第一鳥居～元箱根港～一里塚

最高地点付近に「石畳み」についての説明板があり「江戸時代の初め、それまで尾根伝いを通っていた湯坂道に替わり、須雲川に沿った谷間の道が東海道として整備されました」と書かれています。

神奈川ウォーキングクラブでは、箱根湯本駅から湯坂道を上り浅間山～芦ノ湖へ歩くコース(標高差800m)や、今回の石畳コースも畑宿をスタートして甘酒茶屋～芦ノ湖コース(標高差400m)を何回か歩いています。

最高地点から15分ほど下ると権現坂、目前に芦ノ湖が見えてきます。小田原から箱根路を上る旅人がいくつかの難所をあえいでたどり着き一息つくところ。石畳道を慎重に下りて行くと杉並木歩道橋、階段を下りると興福院の境内です。国道1号線へ出るとおみやげ屋などがあり、観光客で賑わっています。

芦ノ湖沿いに南へ進むと大きな箱根神社第一鳥居、右手は元箱根港です。

江戸から24里の杉並木入口一里塚到着。(1里=約3.927km) 元箱根から恩賜箱根公園まで約500m続く箱根旧街道の杉並木は、樹齢400年近くの400本を越える杉が連なります。



いにしえの人に思いを馳せて1里半ほどのウォーキング

杉並木に並行する国道1号線に出ます。東京箱根間往復大学駅伝コースです。正月2日、テレビカメラが、正面からロングアングルで最後の頑張りを見せる選手をとらえます。南下して右手に曲がると目の前に芦ノ湖の水面が目に飛び込んできます。東京大手町から襷をつないで107.5kmのゴールです。

第96回目の今年は、青山学院大学の飯田貴之選手が1位でゴールのテープを切りました。箱根駅伝ファンにとっては記念すべきところです。ゴール横には、駅伝ミュージアムがありますので売店で少しお買い物タイムをとります。



湖畔の箱根町港から1号線を少し戻り箱根関所跡へ入ります。江戸の防衛のために「入り鉄砲と出女」を厳しく取り調べていました。次に、6kmコースは箱根関所資料館には入場せず、横を通り恩賜箱根公園へ。自然探求路の湖畔路を歩き高台の中央広場へ出ます。

洋風建築様式湖畔展望館横の大きな東屋が昼食場所でお弁当が配られます。芦ノ湖、箱根の山々が一望でき富士山が正面に見えます。

草鞋で歩いた、いにしえの人に思いを馳せて1里半ほどのウォーキングです。

